

## 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月 8日 (水) 5校時  
児 童 男子15名 女子12名 計27名  
指導者 竹田 和代

- 1 単元名 くらべてよもう  
教材名 じどう車くらべ (光村図書 1年上)

### 2 単元について

#### (1) 能力について

第1・2学年の「読むこと」における目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

説明文「じどう車くらべ」の主な指導事項は、「三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。」(読イ)及び「語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読む。」(読エ)となっている。この力を育てるためには、自動車の説明が「しごと」についてと「つくり」についてのまとまりから成っていることに気付かせ、内容の読み取りを進めていく必要がある。

#### (2) 児童について

児童は、説明文については、1学期に「いろいろなくちばし」で、鳥のくちばしの特徴を記した文章で、説明されている事柄の大体を読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的パターンである「問いかけの文」→「答えの文」と、その文型について学んできた。音読には、一生懸命取り組んでいる児童がほとんどであるが、ひらがなを読めない児童と拾い読みの児童が数名いる。説明文を学習するにあたり、語のまとまりを意識して音読させ、書いてある内容をしっかりとらえられるように指導していく必要がある。

児童にとって自動車はたいへん身近な題材であるので、三種類の自動車を説明しているこの教材は、興味を持って学習に取り組めると思われる。

#### (3) 教材について

本教材は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つである自動車を取り上げた説明文である。説明のしかたは、「話題・問題提起→問題に対する説明」を自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関連を明確にさせることができる。また、児童の興味・関心を生かし、読書活動に結びつけて調べたり表現したりする活動へ発展できる教材である。

文章構成は、「話題提示・問題提示」「事例1」「事例2」「事例3」となっており、児童にとっては他の乗り物も調べてみたいという意欲をそそられる構成となっている。

(4) 指導にあたって

本教材の読み取りでは、「しごと」について捉えさせ、そのためにどのような「つくり」になっているかを考えさせながら、事柄の順序に従って読み取らせていく。「そのために」という言葉の役割を考えさせながら、説明文の構成や言葉の使い方にも慣れさせるようにしたい。また、説明的文章を読むことで、物事を新しく知ったり、いろいろな本を読みたくなるような雰囲気を作り、読むことの楽しさを見つげられるようにしたい。本教材では、以下の点に留意して、学習を進めていきたい。

第一次では、挿絵を有効に使う、それぞれの自動車に興味・関心をもたせるようにしたい。

第二次では、言葉と絵を結びつけながら、それぞれの自動車のよいところに目を向けさせ、重要な語句や文に注意してサイドラインを引かせたり、ワークシートを準備して読み取ったことを書かせたりしながら、主体的に読み取る方法を身に付けさせていきたい。

第三次では、自分の力でどれくらい読み取れるか練習プリントに取り組ませたい。

第四次では、他の自動車についての本を読み、一人一人がその自動車の「しごと」と「つくり」について、読み取ったことをカードにまとめて、「じどう車ずかん」を作る活動を取り入れることで、児童が意欲をもって学習に取り組めるようにしたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

◎自動車の「しごと」と「つくり」の関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。

(2) 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」の関係に興味をもち、進んで教材文を読んだり、乗り物の本・図鑑などを見たりしようとしている。	教材文を参考にして、「しごと」と「つくり」の簡単な組み立てを考え、好きな自動車の説明を書いている。(書ウ)	バスや乗用車、トラック、クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読み取っている。(読イ)	片仮名で書く語を読んだり、書いたりしている。(言イ)

4 単元の指導計画 (10時間)

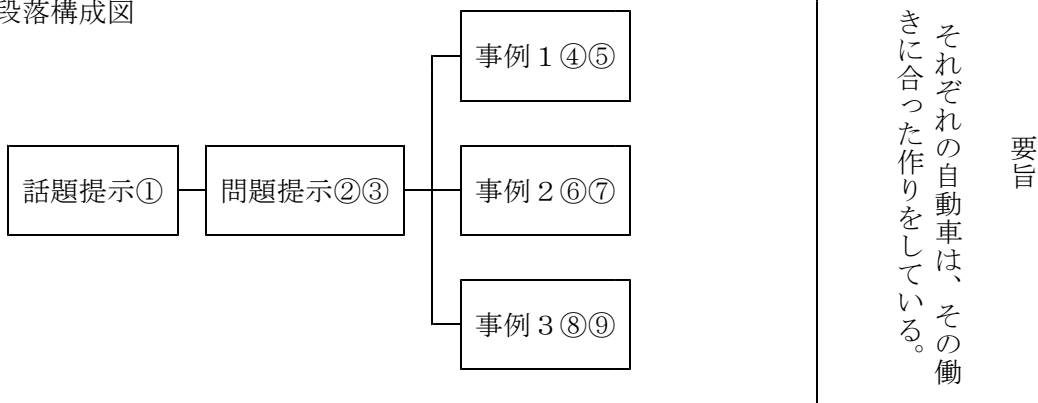
じどう車くらべ				
過程	時	学習活動	指導事項・留意点	評価規準
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動車について知っていることや好きな自動車について話し合う。</li> <li>○ 学習のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の挿絵を用意し、黒板に掲示する。</li> <li>・「しごと」「つくり」という言葉の意味を確認する。</li> <li>・読み取ったことをまとめて「じどう車ずかん」を作ることを知らせる。</li> </ul>	【関】挿絵を見ながら、自動車について興味を持って読んでいる。

第一 次	2	○ おおまかな文章構成をつかむ。 ○ 学習の計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語や文のまとまりに気をつけて、音読させる。</li> <li>・ 9の形式段落で文章ができていることを把握させる。</li> <li>・ 「話題提示」をおさえ、出てくる自動車に着目させながら4つのまとまりに分ける。</li> </ul>	【読】 語や文のまとまりや内容について考えながら読んでいる。
第二 次	3	○ 「バス」や「じょうよう車」の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」と「つくり」が書かれているところにサイドラインを引かせる。引いたところをぬき書きさせる。</li> </ul>	【読】 「しごと」と「つくり」を示している言葉に注意しながら読んでいる。
	4	○ 「トラック」の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」と「つくり」が書かれているところにサイドラインを引かせる。引いたところをぬき書きさせる。</li> </ul>	【読】 「しごと」と「つくり」を示している言葉に注意しながら読んでいる。
	5 本 時	○ 「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」と「つくり」が書かれているところにサイドラインを引かせる。引いたところをぬき書きさせる。</li> </ul>	【読】 「しごと」と「つくり」を示している言葉に注意しながら読んでいる。
	6	○ 「はしご車」について説明する文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しごと」「つくり1」「つくり2」を話し合い、短い文で書かせる。</li> <li>・ 接続語「そのために」を使って書くことを確かめる。</li> </ul>	【書】 「はしご車」について「しごと」と「つくり」を文に書いている。
第三 次	7	○ 「いろいろなふね」を用いて、読み取る練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ふね」とその「やくわり」の大体を読み取らせる。</li> </ul>	【読】 「ふね」の種類とその「やくわり」の大体を読み取っている。
第四 次	8	○ 図鑑にまとめる車を選んで、調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本を選ぶ時間を十分に取って、必要に応じて一緒に探したりする。</li> </ul>	【関】 自動車に興味を持って本を読み、調べている。
	9	○ 教材文を参考にし、選んだ車の「しごと」と「つくり」を考えながら説明する文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本によっては、「しごと」と「つくり」等がはっきりと書かれていないものもあるので、必要に応じて助言したりする。</li> </ul>	【書】 自動車について調べたことを文に書いている。
	10	○ 出来上がった自動車図鑑を紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちの文章のよさを見つけながら、聞かせる。</li> <li>・ 語や文としてのまとまりを考えながら、読ませる。</li> </ul>	【読】 語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読んでいる。

5 1年「じどう車しらべ」教材構造図

事例三	事例二	事例一	問題提示	話題提示	段落構成
⑨ ⑧	⑦ ⑥	⑤ ④	③ ②	①	形式 段落
クレーン車	トラック	バスやじょうよう車		問題提起	小見出し
おもいものをつりあげるしごとをしています。 そのために、じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするようにつくってあり、車たいがかたむかないように、しっかりしたあしが、ついています。	そのために、うんでんせきのほかは、ひろいにだいになっていて、おもいにもつをのせるトラックには、タイヤがたくさんついています。	そのために、ざせきのところがひろくつくってあり、大きなまどがたくさんあります。	人をのせてはこぶしごとをしています。	いろいろなじどう車が、どうろをはしっています。 どんなしごとをしていますか。 そのために、どんなつくりになっていますか。	段落の要点
くは、しごとをしています。 そのために、くあります。くいたりくたり車たい	くは、しごとをしています。 そのために、くいます。	くは、しごとをしています。 そのために、くあります。	くは、しごとをしています。 そのために、くあります。	どんなしごと そのために どんなつくり	着目させたい言語

段落構成図



## 6 本時の指導

### (1) 目標

- 絵や文からクレーン車の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか読み取ることができる。

### (2) 指導の構想

- 本時は、クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る時間である。読み取りのために音読をしっかりとさせ、クレーン車の「しごと」と「つくり」が書いてあるところにサイドラインを引いたり、視写したりして、大事なところに着目させたい。

### (3) 展開

段階	学習活動	教師の支援	評価
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">クレーン車のしごととつくりについて、しらべよう。</div> ・学習場面を音読する。	・トラックは、どんな「しごと」をしていたか。そのためにどんな「つくり」になっていたかを想起させる。 ・⑧⑨段落をできるだけたくさんの子に音読させる。	
ふかめる 35分	3 学習場面を読み取る。 (1)クレーン車の「しごと」が書かれてあるところを見つける。 (2)クレーン車の「つくり」が書かれてあるところを見つける。 ・見つけたことを発表する。 4 「しごと」と「つくり」をまとめる。	・「しごと」が書かれてあるところにサイドラインを引かせる。 ・「～の仕事をしています。」を押さえる。 ・「おもいもの」「つりあげる」の意味を確かめる。 ・挿絵と対応させる。 ・「つくり」が書いてあるところに、サイドラインを引かせる。 ・「そのために、～あります。～います。」を押さえる。 ・「じょうぶなうで」「のびたりうごいたりする」の意味を確かめる。 ・「かたむく」「しっかりしたあし」を確認する。(動作化) ・書いた文を音読させる。	◎「しごと」が書いてあるところを見つけることができる。(教科書のサイドライン) ◎「つくり」が書いてあるところを見つけることができる。(教科書のサイドライン) ○クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめることができる。(ワークシート)

ま と め る  5 分	5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン車の「しごと」と「つくり」を確認する。</li> <li>・⑧⑨段落のまとめの音読をさせる。</li> <li>・「しごと」と「つくり」を意識できるような読み方をさせる。</li> </ul>	
	6 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、はしご車の「しごと」と「つくり」について学習することを知らせる。</li> </ul>	

(4) 具体の評価規準

A：クレーン車の「しごと」と「つくり」を自分の力で読み取ることができる。

B：クレーン車の「しごと」と「つくり」を話し合いを通して見つけることができる。

Cへの配慮：挿絵を使って文をしっかり読ませ、クレーン車の「しごと」と「つくり」がどこに書いてあるのか確認しながら見つけさせていく。

(5) 板書計画

じょう車くびょう

クレーン車のしごととつくりについてしらべよう

しごと

おもいものをつりあげる

つくり

そのために

① じょうぶなうでが、ついたりうごいたりするようにつくってあります。

② 車っかかりがたあむかないように、しつかりあしが、ついています。

クレーン車の絵

(6) 学習の手引き

学習の進め方の手引き

	学習の順序	学習の仕方
1	○だいたいを読む。 ○自分の好きなじどう車を絵にかく。	①だいたいを読み、何についての話かをつかむ。
2	○全文を読む。	①すらすら読めるように音読練習をする。 ②分からない言葉にしるしをつける。
3	○文章を読んで、はじめの感想を持つ。	①文章や挿絵をもとに、初めて分かったこと、ふしぎに思ったこと、くわしく知りたいこと等を発表する。
4	○学習のめあてと計画を立てる。	①学習したいこと、みんなと話し合いたいことを考える。 ②みんなと学習計画を立てる。
5	○文章を読み進める。	①小さなまとまり（だんらく）に番号をつける。 ②大きなまとまり（だんらく）に分ける。 ・じどう車の名前をみつける。 ③「問い」の文と「答え」の文をみつける。 「しごと」「つくり」の意味を押さえる。 「どんなしごと」「そのために」「どんなつくり」 ・文末表現に着目する。 ④主語をみつける。 ・挿絵と言葉をつなげながら読む。 ⑤「どんなしごと」かをみつけ、サイドラインを引く。 ・文末表現→「しごとをしています。」 ⑥「どんなつくり」かをみつけ、サイドラインを引く。 ・文末表現→「～あります。」「～います。」 ⑦だんらくの内容をまとめる。 ・書きぬいて、まとめる。
6	○学習を生かしてほかのじどう車について、自分で説明する文を書いたりする。	①教科書の挿絵を見て、はしご車の「しごと」と「つくり」についてまとめる。 ②関連する本を読む。 ③今までの学習を参考にして文を書く。
7	○発表会を持ち、友だちのよいところをみつける。	①自分の作文をみんなに紹介する。 ②友だちのよいところをみつける。
8	○練習教材を読む。	①自分で問題を読み解く。

ヒントカード

しごと      どんなしごと  
そのために  
つくり      どんなつくり

クレーン車のしごととつくりについて、しらべよう。

なまえ

Blank box for writing the name.

しごと

Vertical grid for writing job-related information.

しごとをしています。

そのために

つくり

Vertical grid for writing information about the crane's construction.

つくってあります。

車たいたかたむかないように、

Vertical grid for writing information about the crane's operation.

ついでいます。

★ふりかえり

さいどらいん（ ）はつげん（ ）まとめ（ ）

Large box for drawing a crane.

クレーン車の絵



「じどう車くらげ」よみとりのてびき

**1 ちいさいへや（だんらく）にばんごうをつける。**

・あかいおはな（行）のはじめが、「じさがつているところをみつける。

**2 ぶんのくみたてをかんがえる。**

・ぶんぜんたいを「クイズ」と「こたえ」にわけろ。

・「こたえ」は、「しごと」とつくりのじゅんばんになっている。

**3 どんなことについてせつめいをしようとしているのかよむ。**

**①クイズをみつける。**

・ヒントになることばやぶんのしっぽ（文末表現）

どんな

くますか。

**②こたえをみつける。**

・ヒントになることばやぶんのしっぽ（文末表現）

しごと

しごとをしています。

つくり

つくってあります。

ついでいます。

**③こたえのぶんをつくってみる。**

ア、「しごと」つくりのじゅんばんで、はし「車のこたえの

ぶんをつくる。

イ、じぶんのえらんだじどう車のこたえのぶんをつくる。